

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金(令和3年度補正予算)実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

岡崎市

(都道府県: 愛知県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.7 その他優良事例の横展開事業の取組		
個別事業名	子育て支援情報発信ツール(子育て応援すくすくメール)のLINE化	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	新規
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	4,303,117		円
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け ※(注)2	<p>少子化による将来的な人口減少が推計され、また、出生率に大きく関わる15歳～49歳の女性の人口の減少が進む中、「第7次岡崎市総合計画」では、社会移動の状況から、子育て世帯や女性を呼び込むまちづくりを今後の課題とするなど、将来都市像を実現するための人口規模の増加・維持する取組としては、若年・子育て世帯への対応が欠かせない。</p> <p>安心して子供を産み育てられる環境を創出し、若年・子育て世帯の移住定住促進を図り、少子化対策を推進するものとして、「第7次岡崎市総合計画」における「未来投資計画事業」に位置付けられる。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題></p> <p>妊娠期から3歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、電子メールにより子育て支援情報を「子育て応援すくすくメール」として配信している。子どもの成長に合わせて必要な情報を届けることで、妊娠・出産・育児への不安感、孤独感を軽減し、安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいる。しかしながら、子育て世帯にとって、情報発信ツール(電子メール)がニーズに適合しておらず、利用者アンケートからもLINEによる配信を希望する声が多数であった。そのため、登録者数も増加しておらず、情報を必要としている世帯に十分に届けることができていない。</p> <p>また、現在の配信では、子育てに関する相談窓口に対して、定期的に情報配信しているものの、案内が十分にできていない。加えて、事情によって日中相談できないかたなどに向けた個別相談メールフォームがあるものの、利用時にわかりづらく、十分機能していない。</p> <p><課題への対応></p> <p>情報発信ツールを、電子メールからLINEに変更する。これにより、より子育て世帯のニーズに合った情報発信が可能となる。具体的には、文章以外に画像や動画等データも配信できるようになるため、汎用性が高くなる。本文もLINE版として新たに編集することで、端的でより理解しやすいものにリニューアルする。また、電子メールに比べて登録が容易になる。さらに、電子メールに比べて、他の情報に埋もれてしまう可能性が低くなるため、検索性が向上する。これらによって、利便性が向上するため、登録者数の増加も見込め、より多くの人に子育て情報を発信することができるようになる。</p> <p>また、子育て相談窓口の案内として、LINE本文に相談窓口情報(市HPのURL)を記載する回数を現状の2倍にする。併せて、市HPの掲載内容を見やすく改修することで、気軽に相談できる雰囲気醸成を図る。加えて、対面や電話での相談を希望しないかたや、事情によって日中相談できないかたのための個別相談のメールフォームを、HP上分かりやすく表示する。これらの取組により、これまで以上に増加する多様な相談ニーズに専門職員等が対応する。</p> <p>これらの取り組みを通して、本市での子育てを総合的に支援するとともに、温かい社会づくりを目指す。</p> <p><取組内容></p> <p>子育て支援情報発信ツール(子育て応援すくすくメール)のLINE化の取組</p> <p>(1) 子育て応援すくすくメールのLINE化</p> <p>現在、本市で電子メールを利用して子育て情報を発信しているが、子育て世代にとってより身近なツールであるLINEに移行して情報発信を行う。また、相談機関の担当課と連携し、相談情報の発信を行う。</p> <p>・内容 岡崎市公式LINEアカウントのシステム改修、LINE配信初期設定・LINE配信委託事業</p> <p>○ 委託先: 特定非営利活動法人きずなメールプロジェクト</p> <p>※①一般市民周知用チラシ(公共施設・産婦人科・小児科配架等) 15,000枚 ②一般市民周知用ポスター(公共施設・産婦人科・小児科掲示) 300枚 ③妊娠おめでとうカード(事業広報用、母子健康手帳交付時に配布、父母で別様式) 各4,000枚</p> <p>(2) 育児相談業務 ※「(1)子育て応援すくすくメールのLINE化」によって事業拡大し発生する人件費</p> <p>・内容 対面(訪問及び来庁)及び電話等で育児相談を行う</p> <p>(3) 妊娠・授乳相談支援委託事業</p> <p>・内容 体験型妊婦教室をはじめとした相談・支援委託事業</p> <p>○ 委託先: 岡崎市薬剤師会</p> <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>令和4年度に実施した利用者アンケートに基づき、配信内容や広報手段を検証し、より効果的な配信方法を検討するとともに、ニーズに応じた相談などをより行いやすくする相談体制の構築検討を行う。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>福島県古殿町「子育て支援アプリサービス」、常陸太田市「子育て応援事業(Webマガジン)」、春日市「子育て支援アプリ情報配信サービス事業」など</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	社会増減 転入超過者数 令和3年度から令和7年度 5年平均		人	330 (令和7年度)	317 (令和2年度過去平均10年間)
	子育て応援すくすくメール登録者数の増加(人/年)		件	100 (令和4年度)	0 (令和3年度)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.5 (令和元年度)	
	婚姻件数		件	3983 (令和元年度)	
	婚姻率			10.6 (令和元年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉				
	・子育て応援すくすくLINE登録者数の増加(人/年)		人	100	0
	・子育て応援LINE内での相談窓口案内回数(全550通中)		回	33	66
	〈アウトカム〉				
	「登録してよかった」人の割合		%	94	91.43
	「今の生活の中で孤独を感じることもある」人の割合		%	25	31.19
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	無				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者が作成した子どもや妊産婦の情報(以下、民間情報という。)と、本市が作成した子育て行政情報(以下、行政情報という。)を組合せ、民間事業者がLINE登録者に随時配信する。民間情報及び行政情報の原稿は、随時更新を行い、行政が確認をしている。また、民間事業者と行政が合同で作成した利用者アンケートを、民間事業者がLINEを活用して実施する。				
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有				
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無				